

外国人技能実習生に対する地域としての支援

受講生：岩崎 豪 佐々木 健太 高島 啓輔 虻川 夏海 安倍 郁実 齋藤 千央
大欠 侑奈 武田 菜々恵 武田 理緒

担当教員：孔 麗

【地域プロジェクト背景と目的】

日本は、人口減少に加えて少子高齢化により労働力不足が顕著となっており、とくに地方都市においては、労働力の確保が地域産業を維持する上で重要な課題となっている。

その打開策として、単純労働への外国人労働者は受け入れないとする方針の下で、「技能実習制度」が採られてきている。技能実習生の数は全国的に増加傾向にあるが、函館市を中心とする道南地域でも同様である。

本制度は、日本で培われた技能や知識を移転し、開発途上国の経済発展を担う「人づくり」に寄与することを目的としたものがある。しかし、現状では、「安価な労働力」として単純労働分野で利用されており、制度の目的と実態が大きく乖離している。

問題が多い本制度ではあるが、唯一の合法的手段として受け入れる以上は、その目的に沿うべく努力する必要がある。そこで本プロジェクトでは、次のような目的を掲げた。

- (1) 外国人労働者の受け入れが、日本社会にとって避けて通れない現実であることを認識する。
- (2) 技能実習制度の適切な運用と、技能実習生のより充実した日本での生活のために、地域として何ができるのかを考え、実行する。

【活動内容】

① 座学研修と全道技能実習生受入協議会研修会の参加

初めに座学研修を行った。教材を用いた講義とディスカッションを行った。

また、本地域プロジェクト第1期生、第2期生との交流会を通して技能実習制度の知識を身に付け、理解を深めた。



続いて、札幌で行われた「全道技能実習生受入協議会研修会」に参加した。この研修会において、新たな技能実習制度の内容を理解することができ、受入れ企業の担当者との交流により、技能実習制度の現状を把握することがで



きた。

② 函館市役所による講義と意見交換会

函館市国際・地域交流課の担当者から、実際に函館で行われている多文化共生への取組みや、函館で活動している団体について学び、技能実習生への支援活動の参考とした。



③ 水産加工企業への訪問と技能実習生との懇談会

技能実習生を受け入れている水産加工企業を訪問し、技能実習生に対する企業の要望等について理解を深めた。

また、技能実習生との懇談を通じ、実際にどのような考えをもって日本で働き、どのような生活を送っているの



か、どのような希望があるのかなどを具体的に聞き取り、今後の支援活動の参考とした。

④ 監理団体の訪問と技能実習生入国後法定講習への参加

森町の監理団体を訪問し、技能実習生の実態について説明を受けた。

さらに、技能実習生入国後法定講習において、入国したばかりの技能実習生に対し、監理団体による文化指導の一環として、日本の生活マナーや挨拶、文化についてのプレゼンテーションを行った。また、折り紙体験なども行った。



その後、技能実習生との交流会を行い、日本での生活や不便な点についての聞き取り調査を行った。



⑤ ベトナム人技能実習生との食文化交流会

6月には、函館市と本プロジェクトの共催による「食文化交流会」を行った。これは、函館市初の取組みであり、市役所や監理団体、受入れ企業のほか、財団法人北海道国際交流センターの参加を得た。

交流会では、母国ベトナム料理の紹介があり、ベトナムについて理解を深めることができた。その後、参加者全員で作った春巻きなどのベトナム料理を食べながら交流をした。

技能実習生からベトナムで流行している踊りを披露していただく場面もあった。加えて、今後の交流会の要望等についての調査も実施した。



【活動の意義と今後の課題】

今期の地域プロジェクトにおいては、行政や監理団体と連携して技能実習生に対するプログラムを実施するという、大きな一歩を踏み出した。一つは函館市との共催による「食文化交流会」であり、二つ目は監理団体による「技能実習生入国後法定講習」での日本文化紹介プログラムの実施である。

この2点は、これまでの2年間の取組みにより築き上げてきた実績があつてこそ成し遂げられたものである。両事業とも、市、監理団体にとっても初の取組みであり、全国的にみても珍しい事例である。この成功により、今後の継続にも前向きな回答を得ることができたことも成果の一つである。

さらに、行政や監理団体、技能実習生との交流や聞き取り調査を通じて、技能実習制度の現状を把握することができ、今後の活動にとって非常に有意義な成果となった。

技能実習の在留期間が3年から最長5年（優良受入れ企業のみ）に改正されたこともあり、仕事のためだけでなく、生活者としての技能実習生を地域と連携し、技能実習生が道南地域にとけこめるように支援していくことが今後の課題である。

【年間スケジュール】

地域プロジェクトⅠのスケジュール		地域プロジェクトⅡのスケジュール	
10月	オリエンテーション 講義：外国人技能実習制度の仕組み① 講義：外国人技能実習制度の仕組み② 講義：外国人技能実習生の受入れの実態と問題点	4月	オリエンテーション 技能実習生入国後法定講習会参加の事前研修会と教材作成 技能実習生入国後法定講習会参加 事後報告会
11月	全道技能実習生受入協議会への参加（札幌） 函館市役所による講義と意見交換会 水産加工企業の訪問と技能実習生との交流	5月～6月	函館市との共催による技能実習生との食文化交流会の事前研修会 食文化交流会協力企業への訪問と技能実習生との懇談会 事後報告会
12月	教材の輪読と発表① 教材の輪読と発表② 教材の輪読と発表③ 資料の収集と課題の提出	7月	函館市との共催による技能実習生との食文化交流会の開催 事後報告会 最終発表会に向けてこれまでの活動の総括 アンケート調査票の収集と発表資料の作成
1月	外国人技能実習生度の評価 今後の活動についての議論 中間発表会の準備 中間発表会		最終発表会の準備① 最終発表会の準備② 最終発表会 反省会

【地域からの評価】

外国人技能実習生との食文化交流会アンケート調査 調査日：2018年6月3日

今回の交流会でよかったこと	（技能実習生） ・日本人が熱心だった ・楽しかった、チャンスがあればまた参加したい （市役所） ・技能実習生と市民との交流に市として初めて関わることができたことを、大変意義深く感じている ・学生さんの熱心さと、実習生の楽しそうな表情がたいへん印象的でした ・実習生が楽しそうで、有意義な会だった ・素晴らしい交流会だった （企業） ・ベトナムの文化について知る事ができた事 ・ベトナム料理を食べられた事 （監理団体） ・学生が熱心に勉強していた事が伝わってきた事 ・技能実習生に温かく接してくれた事
改善すべき点	（市役所） ・会場の移動 （企業） ・言語の壁があるとは思いますが、もう少し技能実習生の声があるといい ・食事の時間配分 （監理団体） ・日本人とベトナム人がもっと会話する部分があればいい
これからの交流会でやったらよいこと	（市役所） ・後もこのような交流会が継続して行われ、少しずつでも技能実習生と函館市民との距離が縮まっていけば、函館市の国際化にとっても素晴らしいことだと思う （企業） ・技能実習生のベトナムでの生活を知りたい ・今後も継続してほしい

【謝辞】

渡島国際交流事業協同組合、全道外国人技能実習協議会、函館市企画部国際・地域交流課、株式会社 竹田食品、外国人技能実習生の皆さま、地域住民の皆さま、ならびに、その他のご協力いただきました方々に心より感謝申し上げます。



(以上)